

一般質問（個人質問）通告書

受付	月	日
午後	時	分

平成28年 6月 6日

笠岡市議会議長 殿

笠岡市議会議員 樋之津 倫子 ㊞

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨 (なるべく具体的に記入してください。)	答弁を 求める者
1 子どもの医療費給付制度の高校卒業までの年齢拡大を求めて	<p>少子化問題が深刻化する中で、国の施策も十分なものとは言えません。厚生労働省が発表する合計特殊出生率も1989年初めて1.6を割り込んで以降、本格的な回復傾向を見せていません。2015年は1.46で21年ぶりに増えているものの、世界でも有数の「出産・子育てが困難な国」であるというのが実態です。</p> <p>長時間過密労働や低賃金・不安定雇用の非正規労働が一向に改善されない社会で、結婚・出産・子育てに希望が持てないのも大きな問題です。</p> <p>どの自治体も少子化対策として様々な施策を設け、結婚・出産・子育て環境を充実させようとしています。そしてその中でも医療費無料化制度は、いつでも安心して子供の命と健康を守れるという子育てにおいて全国的にも有効な対策として証明済みの制度です。岡山県では3分の2の自治体が中学卒業までを実施しており、高校卒業までの無料化については今年4月から始めた隣の矢掛町を含め、県下では4つの自治体を実施しています。</p> <p>笠岡市においても高校卒業までの実施を決断し、他の施策と合わせ、県西部で最も子育て応援充実都市としてアピールすべきと考えるがどうか。</p>	市長
2 国保税の1世帯当たり1万円の引き下げを求めて	<p>国民健康保険の運営が昨年度も実質赤字となり、基金の取り崩しを余儀なくさせられた実態が先月示されました。</p> <p>すでに国民の生活実態は格差と貧困が続く中、運営の困難さから一般会計からの繰り入れを実施している自治体が多くあります。少しでも値上げを抑え、払える国保税にしようという考えのもと全国でその総額は3900億円です。つい先の臨時議会でも最高所得層における限度額の引き上げが行われました。該当者にとっては実質の値上げです。23年度から連続値上げであり、6年間で20万円にな</p>	市長

質問事項	質問の要旨 (なるべく具体的に記入してください。)	答弁を 求める者
<p>3 干拓のにおい対策 について</p>	<p>ります。およそ税の引き上げであつという間に 20 万円も引き上げられるということ自体が異常ではないでしょうか？</p> <p>また、滞納者への資格証・短期保険証の発行は、そうでもなくても払えない人たちが、窓口で 10 割の負担ができるはずもなく、全国的に我慢に我慢を重ね、命を落とす例もあります。</p> <p>① 国保運営の困難さについての市長のご認識を伺います。</p> <p>② 1 世帯当たり 1 万円の引き下げを求めます。</p> <p>③ 資格証の発行を中止し、いつでもどこでも安心して医療を受けられるという本来の国保の精神を生かすよう求めます。</p> <p>市民から干拓の牛糞のにおいが改善されていないという声をよく聞きます。観光に力を入れ、集客力を高めようとするうえで、又快適な市民生活を築くうえで欠かせない課題です。今後の対応について伺います。</p>	<p>市長</p>